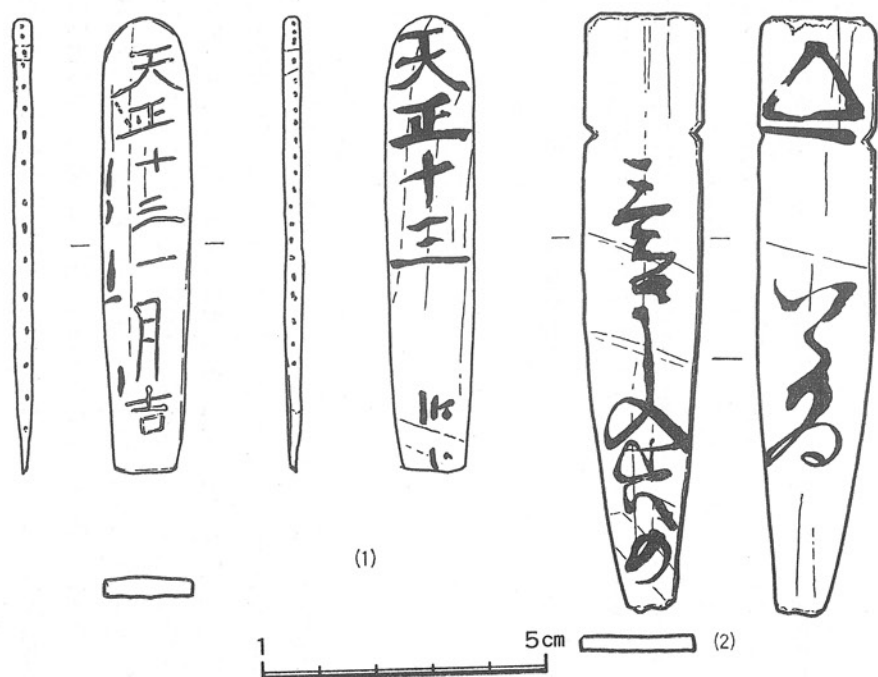




いけだ
大阪・池田寺遺跡

- 1 所在地 大阪府和泉市池田下町
- 2 調査期間 一九七八年(昭53)一〇月～一九八〇年一月
- 3 発掘機関 大阪府教育委員会
- 4 調査担当者 広瀬和雄
- 5 遺跡の種類 寺院跡ならびに集落跡
- 6 遺跡の年代 七～九世紀、一二～一八世紀
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要



(岸和田)

池田寺遺跡は、槇尾川によって形成された河岸段丘上に立地している。この遺跡の沿革は次のとおりである。まず、七世紀初頭に掘立柱建物からなる集落が営まれた。七世紀後半には「池田」「池田堂」の文字を伴う古代寺院が造営された。この寺院は、平安時代になると荒廃していたようだが、一二、三世紀頃には復興したようである。そのうち、南北朝前後になる

